

金沢市文化芸術アクションプラン骨子（案）

1. 概要

（1）目的

伝統文化の継承・振興と新たな文化の創造・醸成・発信を図るとともに、文化芸術の多様な価値（本質的価値及び社会的・経済的価値）を活かした実践的な文化芸術政策を展開するための今後10年間の指針とします。

（2）計画期間

計画期間は **2021年度から2030年度の10年間**とし、5年後（2026年度）に中間見直しを行います。

2. 位置づけ

（1）上位計画・関連計画

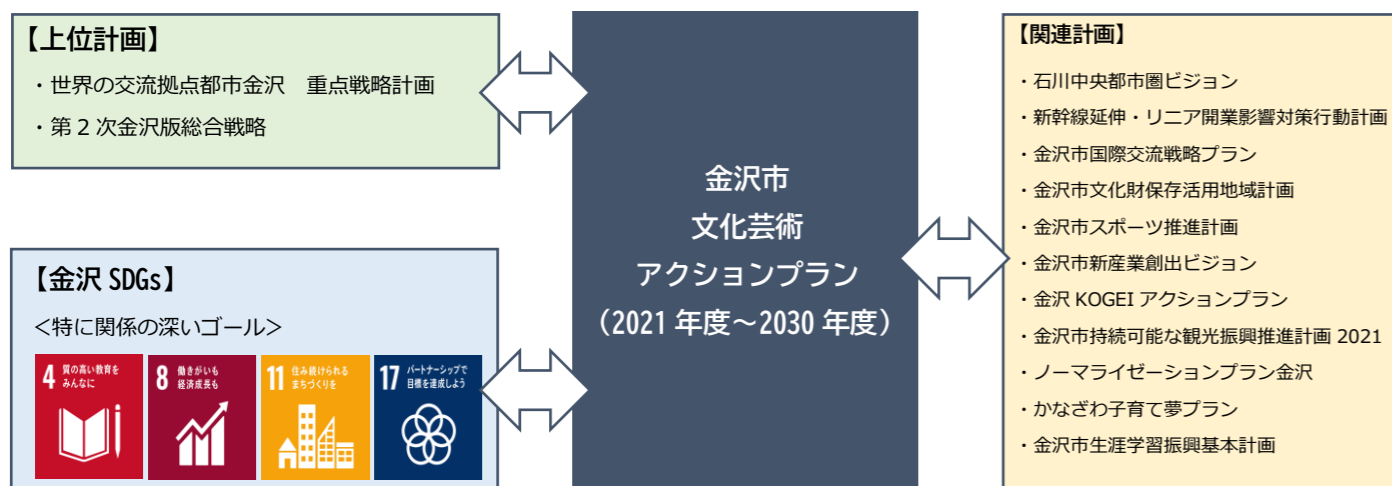
本市の目指すべき都市像とそれに向けて講じるべき施策を取りまとめた「世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画」や地方創生を図る「第2次金沢版総合戦略」を上位計画と位置づけます。

（2）文化芸術とSDGs（金沢SDGs「IMAGINE KANAZAWA2030」との関わり）

文化芸術は、金沢のまちや市民の心を豊かにする力を持っています。年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが文化芸術を体感できるまちづくりをすすめる必要があります。そのため本プランは、金沢SDGs「IMAGINE KANAZAWA2030」の動きと連動させながら、金沢の文化芸術のあるべき姿を構築していきます。

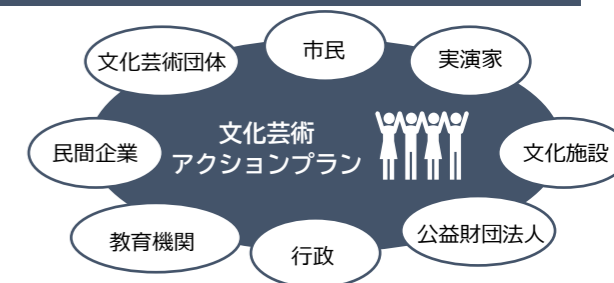
（3）文化芸術と「新しい日常」

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、インターネットでの活動配信やライブと配信を組み合わせたハイブリッド公演など、デジタル技術を活用した取り組みが進んでいます。このため本プランは、「新しい日常」の観点を盛り込みます。



3. 推進体制

本プランは、石川県芸術文化協会をはじめとした「文化芸術団体」や「実演家」などの担い手とともに、「行政」や金沢芸術創造財団、金沢文化振興財団などの「公益財団法人」、小中学校や高校・大学などの「教育機関」、文化芸術を支援する「民間企業」のほか、支え手となる「市民」など、多様な主体と連携し、協働で推進します。



4. 課題

（1）文化芸術の継承・活用

- 地域コミュニティの希薄化や生活様式の変化により、固有の伝統文化を支える基盤が弱まっています。
- 文化芸術を身近に感じられるよう、市民が文化芸術への関心や理解を深めることが求められています。
- 老朽化している文化財を計画的に修復するとともに、適切な状態で保存する必要があります。
- 最先端技術を活用することにより、文化芸術資源の価値をさらに高めることが期待されています。
- 優れた文化芸術や文化財をまちづくりや観光資源、産業に活用していくことが期待されています。

（2）文化芸術の人づくり

- 指導者や後継者など、文化芸術を継承し、発展させる人材が不足しています。
- プロのみならずセミプロやアマチュアを含めた文化芸術の担い手の活躍の場が求められています。
- 文化芸術を学び習熟できるライフステージに応じた機会の提供が求められています。
- 実演家や文化芸術団体など「担い手」のレベルを向上させるとともに、それに応じたボランティアや理解ある鑑賞者などの「支え手」を育てることが求められています。
- 多様な人材を育てるには、文化芸術に関わる多様な主体の連携・協働が必要です。

（3）文化芸術環境の整備

- 学校における活動を含め、子供が文化芸術に触れられる環境の充実を図ることが求められています。
- 美術館や博物館、ホールなど文化芸術に親しむ施設の充実を図ることが必要です。
- 文化芸術の実演・鑑賞・参加のそれぞれの立場におけるライフステージに応じた環境が求められています。

（4）文化芸術の醸成・交流

- 「音楽文化」や「建築文化」など、近年市民とともに育んできた文化のさらなる醸成が求められています。
- 分野を超えた多様なコラボレーションを通じた新しい可能性の追究が期待されています。
- 金沢SDGsでは、文化芸術活動を通じた社会包摂や多文化共生社会の形成をめざしています。
- 国内外との交流を通じて、金沢の文化芸術のブランドの価値を高め発信することが必要です。

基本理念：文化芸術にさらに磨きをかけ、未来へつなぐ世界の文化都市 金沢

＜将来像1＞文化芸術の薫るまち

これまで培ってきた伝統文化を継承し、発展させるとともに、文化財の計画的な修復や適切な保存に努めるほか、敷居が高いと感じる市民が文化芸術を身近に感じられるよう親しむ機会を創出します。

また、伝統文化や文化財、優れた文化芸術をまちづくりや観光資源、ひいては産業として活用するなど、市民はもとより、異日常を求める観光客にも文化芸術が身近に感じられるよう、文化芸術が華やぎ、暮らしの中で文化芸術の薫るまちをめざします。

①文化芸術を継承し発展させる	<ul style="list-style-type: none"> 市指定無形文化財をはじめとする伝統文化の振興・継承を支援 茶の湯文化や茶室の魅力発信 文化財や美術品等収蔵品のデジタルアーカイブ化 文化芸術団体等の文化芸術事業に対する支援
②文化芸術に親しむ機会を創出する	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術がまちに溢れる多様な機会の創出 三文豪をはじめとした文芸文化の発信強化 多彩な企画展や体験型講座等の開催による施設の魅力発信 市民が幅広く参加できる大規模イベントの定期開催
③文化芸術資源を活用する	<ul style="list-style-type: none"> 文化財を活用した歴史体感プログラムの推進 金沢芸妓の魅力を感じられる体験会の開催 国内外の観光客に向けた文化芸術プログラムの整備 伝統文化の披露や文化施設でのイベントによる夜の賑わい創出

＜将来像2＞文化芸術を育むまち

指導者や後継者など担い手不足の解消に向け、セミプロやアマチュアを含めた「担い手」の育成に努めるとともに、ボランティアや理解ある鑑賞者など「支え手」を育て、文化芸術に関わる多様な主体の連携・協働を進めることで、文化芸術の「担い手」と「支え手」の双方を育むまちをめざします。

また、ライフステージに応じて文化芸術を学び習熟できる機会、とりわけ子供から学生までの若年層が文化芸術に関心を持てるよう多彩な機会を提供することで、市民が文化芸術に理解と関心を持てるよう裾野を広げます。

①文化芸術の人材を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 地元の音楽家や音楽団体が関わる音楽イベントの支援 美術工芸分野など金沢ゆかりの作家の作品収集の強化 生業として持続できる伝統工芸の技術習得や発信等の支援 文化芸術活動を支えるボランティアや理解ある鑑賞者の育成 伝統文化の継承・新たな文化の創造に功績顕著な個人や団体の表彰
②文化芸術の裾野を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた文化芸術を学び習熟できる機会の提供 文化芸術の裾野を広げる伝統文化子ども塾の継続 音楽文化醸成に向けた若年層の人材育成 文化芸術への理解や関心を高めるためのアウトリーチ活動の展開 文化芸術分野の国際大会等への出場者の顕彰・支援

＜将来像3＞文化芸術を支えるまち

文化施設を計画的に改修し、最先端技術を活用し展示機能を強化するなど文化施設を高度に運営するほか、金沢美術工芸大学の新キャンパスを整備するとともに、文化施設等を活用したまちの回遊性向上を目指します。

また、文化芸術関係者や市民等が利便性を享受できる環境や仕組みを整えるなど、文化芸術を支えるまちをめざします。

①文化芸術の関連施設を整備する	<ul style="list-style-type: none"> 金沢美術工芸大学の新キャンパス整備による文化芸術の発信 文化施設の計画的な改修による施設機能の維持・強化 最先端技術の活用など文化施設の展示機能を強化
②文化芸術に関わる環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術に関する相談・協働・支援をワンストップで行う仕組みの検討 国立工芸館の移転を契機とした周辺エリアにおける国・県・市の文化施設の連携強化 ライフステージに応じた環境を整備するため、文化芸術団体、学校、地域団体、学生等との連携強化 文化施設におけるキャッシュレス化の推進

＜将来像4＞文化芸術を誇れるまち

「音楽文化」や「建築文化」、「スポーツ文化」など、近年、本市に根付きつつある多彩な文化芸術を醸成するとともに、分野を超えた多様なコラボレーションを通じて、金沢ならではの文化芸術の新しい楽しみ方を提案します。

また、文化芸術活動を通じた社会包摂・多文化共生を進めるとともに、国内外との交流を通じて、文化芸術のブランド価値を高め、文化芸術を誇れるまちをめざします。

①多彩な文化芸術を醸成する	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の新たなコラボレーションを促進するため、多様な分野の担い手の交流機会を創出 ジャズやアカペラ等の「音楽文化」醸成に向けたイベントの開催 市民や国内外の人々に「建築文化」の魅力を広く発信し、後代に継承 東京オリンピック・パラリンピック大会を契機とした文化スポーツイベントの誘致推進 文化とスポーツを組み合わせた交流の促進 多様な機会を通じたアウトサイダー・アートの魅力発信
②国内外との交流を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市、創造都市、友好交流都市等との文化芸術交流の推進 東アジアにおける文化芸術の交流・発信拠点として、中国・韓国との文化芸術交流を推進 国内外の現代美術作家や工芸家等との交流による、アーティスト・イン・レジデンスの展開